

事例番号 088 市民とNPOによるまち再生(三重県四日市市)

1. 背景

四日市市は三重県北部に位置する県下最大の人口(約 31 万人)を擁する都市である。古くから“四日の市”に代表される商業の町として、また、東海道の宿場町として繁栄し、陸海交通の要衝であった。明治になって植物油、萬古焼、生糸、紡績などの諸産業が盛んとなり、港の修築も行われ、国内取引はもとより、いち早く海外取引も開始された。昭和 30 年代以降は日本を代表する臨海コンビナート地区となった。この過程では激しい公害が発生したが、志の高い人々が大きな困難を乗り越えて懸命の努力を続けた結果、今では大きく改善され、良好な環境が取り戻されてきている。

臨海部における経済活動の拡大に伴い昭和 40～50 年代には流入人口が急増して内陸部の住宅開発が進んだが、それにより古くからの地域住民のコミュニティが変化し、近隣同士のつながりが希薄になる傾向が見られるようになった。その結果、子育て支援、高齢者への支援・介護、防災・防犯活動など、もともと地域で助け合っていたコミュニティ活動が以前ほど活発ではなくなった地区も増えてきた。このような状況に対し、市は今後の社会構造変化に対応するため、市内 23 の地区市民センターにおいて、福祉、文化、健康づくり、人権等、様々な分野における地域住民の活動拠点としての機能の充実に取り組んでいる。また、「市民活動センター」と「生涯学習センター」とを一体化した「四日市市なやプラザ」の管理運営をNPOに指定管理者として委託し、そこでNPO法人をはじめ市民活動団体の活動支援を行う予定としている。

なお、日本経済が安定成長期に入った昭和 50 年代後半以降は重厚長大産業のコンビナートは衰退に向かったことから市は産業構造の転換に取り組み、2003 年には産業構造改革特区(技術集積活用型産業再生特区・四日市コンビナート)の認定を受けている。



四日市市の位置 (資料: 四日市市ホームページ)

2. 目標

暮らしやすい地域コミュニティを維持していくため、市はまち再生の目標を「市民活動による地域コミュニティの活性化」においている。市には現在 78 の NPO 法人があるが、今後は中間支援 NPO (市民活動や NPO の事業活動そのものを支援する NPO) の育成にも力を入れていく方針である。

3. 取り組みの体制

市は、市内 23 地区にある地区市民センターに「地域マネージャー」を各種委員として採用・配置した(民間企業の経験者から)。また、市は地域再生計画を策定し、市民活動に対する財政支援や規制改革に向けた支援のほか、中間支援 NPO の育成などを推進している。

一方、既存 NPO の中で既に活動実績のある「四日市創造ネットワーク」は、地域通貨「Jマネー」の取り組みや「スチューデントエコノミー事業」などの具体的な事業を行っている。また、多様な領域の NPO の自発的連携組織として「四日市 NPO セクター会議」が発足している。

4. 具体策

(1) 「地域マネージャー」の配置

市は目標である「地域コミュニティの活性化」を実現するため、2004 年度から 3 年計画で市内 23 ヶ所の「地区市民センター」(市の出張所と公民館の機能)に「地域マネージャー」を配置し、地域コミュニティ活動や学習活動を支援している。「地域マネージャー」は、民間人の視点と経験を活動に活かすことを企図した市により、民間企業での職務経験がある者が採用されるもので、地区の実情に応じた諸課題への対応や地域住民によるまちづくり活動の促進を行っている。

(2) 地域再生計画に基づく NPO 支援の仕組み

四日市市は、新たな NPO の育成支援に努めるとともに各団体と自治会、行政との有機的連携を図りながら地域コミュニティを充実させ、自主自立の元気な地域社会づくりを進めていくために地域再生計画を策定し、2005(平成 17)年 7 月に地域再生本部に採択された。以下では、地域再生計画に基づく様々な支援事業や NPO 等市民活動育成の具体策を紹介する。

市民活動による地域再生計画



(資料: 四日市市)

①「四日市市民活動ファンド」

さまざまな公益活動に取り組む市民活動団体を資金的に援助することを目的に、市役所職員有志と市内企業からの寄付金 1,000 万円を原資として 2000 年に公益信託制度を活用して設立された。現在では、市の制度「個性あるまちづくり支援事業」との役割分担を明確にするため、ファンドによる支援対象を NPO 法人としている。上限は 1 団体あたり 75 万円、平成 17 年度は 7 団体(平均 40 万円/団体)が利用している。

②「個性あるまちづくり支援事業」

平成 16 年度より実施している事業で、上限 75 万円/件である。さまざまなまちづくり事業(防犯、里山保全、環境美化等)を対象に支援が行われている。平成 17 年度は 53 団体が採択された。

平成 18 年度の支援内容(予定)(資料:四日市市)

区 分	個性あるまちづくり支援事業			四日市市民活動 ファンド
	一般枠	防犯活動枠	子ども見守り枠	
助成団体	NPO 法人以外	NPO 法人以外	NPO 法人以外	NPO 法人のみ
助成対象 事業	一般	防犯活動のみ	子ども見守り活動	一般 (防犯活動含む)
助成総額 (予定)	約 1,240 万円	約 300 万円	約 300 万円	約 400 万円
助成限度 額	①立ち上げ期 10 万円 ②立ち上げ期以外 75 万円	①立ち上げ期 10 万円 ②立ち上げ期以外 75 万円	①立ち上げ期のみ 10 万円	75 万円
補助率	①立ち上げ期 10/10 ②立ち上げ期以外 対象経費 50 万円以下 9/10 50 万円超分 2/3	①立ち上げ期 10/10 ②立ち上げ期以外 対象経費 50 万円以下 9/10 50 万円超分 2/3	10/10	対象経費 50 万円以下 9/10 50 万円超分 2/3

③「四日市市地域防犯協議会」

平成 16 年の「個性あるまちづくり支援事業」に防犯関連事業として応募した 13 団体のネットワークにより、「四日市市地域防犯協議会」が設置された。これは、犯罪等の防止を目的とした市民等の自主的な活動に対する指導・支援等を市の責務としてまとめた「四日市市安全なまちづくり条例」を受けた取り組みである。

協議会の中心的団体となっている「別山安全なまちづくり推進委員会」の提案をきっかけに規制緩和がなされ、これまで禁止されていた着脱式の青色回転灯を装着した自動車による自主防犯活

動が実現した。この動きは他の防犯団体にも広がり、今では 7 団体が青色回転灯を装着した自主防犯パトロールを実施している。

同協議会は、良好な近隣関係を築くことによって安全なまちづくりを実現することを目指している。そのため、活動の趣旨や各団体が実際の活動で得たノウハウなどを情報交換することで自主防犯活動の輪がさらに広がるよう、協議会主催でシンポジウムを開催することなども検討している。



青色回転灯を装着した自動車による夜間パトロール(別山地区) (写真提供:四日市市)

④「スチューデント・エコミー」

平成 17 年、内閣府の地域再生計画と連動した支援措置として、「NPO 法人四日市創造ネットワーク」の「スチューデント・エコミー事業」が「地域再生に資する NPO 等の活動支援」として採択された。スチューデント・エコミーの取り組みは、市内の高校生(商業系、工業系、農業系)を対象に、将来の企業マインド醸成と実践学習を目的に、地域通貨を使った擬似的なビジネス体験の場の提供として、中心市街地において店舗開設・販売を行う仕組みであった。また、希望するグループに対し、NPO が事業化のアドバイス(資金、販売方法、店舗運営等)を行うというものであった。

スチューデント・エコミーは、平成 17 年 10～12 月にかけて、毎週土曜日に 8 回開催された。高校生の元気な取り組みが来場者に好評で、参加した高校生が回を重ねていく毎に成長していくなど、将来の市民活動の担い手としての若者の人材育成や起業意識醸成の効果は大きかったと考えられている。



スチューデントエコミーによる「さんしょく饅頭屋」（写真提供：四日市市）

⑤ 団塊世代による地域活性化策

団塊世代の定年退職期到来を控えた今日、産業都市という特性を持つ四日市市では、在職中に様々な技術・技能を身につけたシニア資源の活用が望まれている。そのため、こうした人材を地域でしっかりと受け止めるための仕組みづくりが必要となっている。そこで、その技術・技能と地域課題をマッチングさせて退職者たちが地域において市民活動に積極的に参加し活躍できるような仕組みを、中間支援 NPO により構築すべく、引き続き内閣府事業の活用も視野に入れながら検討を行っている。

5. 特徴的手法

市が中間支援 NPO をはじめとする市民団体等の活動を支援する方針を明快に打ち出し、それにより民間組織（協議会等）によるネットワークの構築等が図られていることが大きな特徴である。個性あるまちづくり支援事業、四日市市民活動ファンドなど、特徴的な資金支援策も講じられている。

6. 課題

目標とする「市民活動による地域コミュニティの活性化」に向けた順調な取り組みが行われているが、市は、資金支援制度の改善など、より市民に使いやすい制度運営に努める方針である。

(参考・引用文献)

『地域協働による地域再生 地域活性化ガイドブック』財団法人地域活性化センター
四日市市ホームページ

NPO 四日市創造ネットワークホームページ